作成日：2025 年 3 月 22 日

一般財団法人東京マラソン財団・「東京マラソン 2025 チャリティ」
寄付先団体としての活動実施報告書

公益財団法人スペシャルオリンピックス日本（SON）は 2025 年 3 月 2 日（日）に開催された東京マラソン 2025 の東京マラソン財団チャリティ RUN with HEART のチャリティ寄付先団体として本大会へ参加いたしました。

総勢 515 名の方が SON を寄付先団体として選択いただき、159 名を選定、うち 147 名（国内ランナー：80 名、海外ランナー：67 名）がチャリティランナーとして本大会に参加しました。また 1 名の方が本チャリティを通じてご寄付下さいました。SON へのご寄付は総額 23,797,849 円となり、寄付いただいた皆さまからのご支援は SON の活動を支える大きな力として、スペシャルオリンピックス(SO)冬季世界大会トリノへの SO 日本選手団

派遣をはじめとしたSO活動全般に大切に活用させていただきました。
寄付先団体としての取り組み事業の1つとして、チャリティラウンジ（東京都千代田区・東京国際フォーラム）でのブース出展、加えて大会に合わせて開催された「東京マラソンEXPO 2025」（期間：2025年2月27日（木）～3月1日（土）東京都江東区・東京ビッグサイト）においてチャリティブースを出展しました。
東京マラソン2025 EXPO開催期間中は、SON を寄付先団体としてご寄付いただいた皆さまにSONの活動報告やご支援のお礼を述べる機会として活用させていただきました。また、ご寄付の感謝と東京マラソン2025当日の出走へのエールを込めて記念グッズ等をお渡ししました。新たな取り組みとして、SONアスリートアンバサダーが東京マラソンEXPO 2025期間中にSONブースに立ち、ブースにお立ち寄りいただいた皆さまと交流を図りました。実際にSONでスポーツ活動に励んでいるアスリートたちから直接寄付いただいた皆さまにご支援のお礼や活動をお伝えすることでよりリアルな声を届けることに繋がったと考えています。
3月2日（日）の大会当日におけるチャリティラウンジでもSONアスリートアンバサダーたちがブースに立ち、レースを終えたチャリティランナーお1人お1人へレースへの労いと「走る応援」への感謝をお伝えしました。当日はSOニューハンプシャーのアスリートであるトーマス・カンタラ選手（本大会T20出場）がSONブースへお越しになり、有森 裕子さん（現SONユニファイドスポーツ®アンバサダー／前SON理事長）とSONアスリートアンバサダーと交流しました。
※アスリートアンバサダーについて：https://www.son.or.jp/be-with-all/ambassador/

■日　時　：2025年3月2日（日）（マラソン・10.7km 競技開始：9:10）
■場　所　：東京国際フォーラムB棟7階
　　（〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目5－1）
■実施内容：チャリティラウンジにおけるブース運営
■参 加 者：チャリティランナーの皆さま
　　トーマス・カンタラ選手
　　有森裕子氏（SONユニファイドスポーツ®アンバサダー）
　　SONアスリートアンバサダー（三上隼人、猪熊祐希、稲山芙雨珂、仲江政志）
　　SONスタッフ

SON アスリートアンバサダーが参加

SON 活動の当事者である知的障害のあるアスリートで、アスリートの代表として SON の広報活動を行っている SON アスリートアンバサダーが東京マラソン EXPO 2025 とチャリティラウンジのブースに参加しました。本取り組みはチャリティランナーの皆さんやブースにご訪問いただけるランナーや一般来場者の方たちに、SON のアスリートと交流し、弊会で活動する彼らを対面で知っていただくことをコンセプトに実施しました。普段は、写真や映像を通じたアスリートたちの活動報告が多いですが、実際に交流することでアスリートたちへの理解も広がり、アスリートたち自身も自らの活動を多くの方へ説明することで、SON を支援して下さっている方たちを知ることにもつながり、相互理解を促す機会ともなりました。

＊SON アスリートアンバサダーとは？ https://www.son.or.jp/be-with-all/ambassador/

有森裕子さんも一緒に事業を盛り上げ

今回、東京マラソン EXPO 2025 やチャリティラウンジにおける SON の活動で、前理事長で現 SON ユニファイドスポーツアンバサダーの有森裕子さんがご自身の SNS で SON チャリティランナーの方たちへエールを送ったり、実際に SON ブースに立ちランナーと交流を行ったりしました。

▼東京マラソン EXPO 2025・SON ブースに立ち寄りチャリティランナーと交流する有森裕子さん

▼有森裕子さんと平岡拓晃 SON 理事長の Instagram

左図）有森裕子さんの Instagram・ストーリーズより SON のアカウントで引用。「頑張れ👍」のメッセージ！

右図）平岡拓晃 SON 理事長の Instagram・ストーリーズより SON のアカウントで引用。「応援しています！」のエール！

イベント内容

『東京マラソン EXPO 2025』

東京マラソン 2025 EXPO では SON のチャリティランナーへの感謝をお伝えする場所として、貴重な時間を過ごしました。また、EXPO 期間中はナショナルゲームなどでボランティア参加いただいた方や東京マラソンに出走する SON のアスリートたちもブースにお立ち寄りいただくなど、様々な方と交流することができました。

東京マラソン 2025 の約 1 週間後となる 3 月 8 日（土）からは「2025 年スペシャルオリンピックス冬季世界大会・トリノ」が開催されることもあり、冬季世界大会に出場する選手団のことなどをタイムリーにご報告しました。

また、新たな取り組みとして SON アスリートアンバサダーがブースに立ち、ブースにお立ち寄りいただいた皆さまと交流を図りました。今回は海外ランナーもいらっしゃる中で、彼らも事前に英語での自己紹介や活動に関する説明を練習してくるなど事前準備もしっかり行い、本取り組みに臨みました。実際に SON でスポーツ活動に励んでいるアスリートたちから直接寄付いただいた皆さまにご支援のお礼や活動をお伝えすることでよりリアルな声を届けることに繋がったと考えています。

チャリティランナーの方々には SON からのホスピタリティとして SON ロゴ入りシューズケースと大会当日にも使用できるオリジナルフェイスシールをお渡しさせて頂きました。

ブースにお立ち寄りいただいたチャリティランナーの方々

ブースにお立ち寄りいただいた皆さまと記念撮影を行い、SNS 掲載のご許可を頂いた方皆さまの様子を掲載させていただきました。「チャリティランナー」の広報にも努めました。

Instagram では、投稿したストーリーズをハイライトに保存しています。アーカイブとしてもご覧いただけます。

ハイライト：https://www.instagram.com/stories/highlights/17968126625838887/?hl=ja

『東京マラソン 2025 チャリティラウンジ』

東京マラソン 2025 の SON チャリティラウンジを東京国際フォーラムにて設けさせて頂きました。当日は東京マラソン EXPO 2025 に続き、SON アスリートアンバサダーも現地へ赴き、チャリティランナーの方たちと交流し、ご支援の感謝をお伝えしました。
フルマラソンを終えた後のお疲れの中、チャリティランナーのご家族を含めて約 20 名が SON ブースへお越しになりました。

トーマス・カンタラ選手×有森裕子さん×SON アスリートアンバサダーとの交流

今回、東京マラソン財団様よりご紹介を受け、スペシャルオリンピックス（SO）ニューハンプシャーのアスリートで 東京マラソン 2025 に T20 クラスのアスリートとして出場したトーマス・カンタラ選手との交流会を実施しました。当日、レース後にトーマス選手が SON のブースを訪問、有森裕子さん（ユニファイドスポーツ®アンバサダー／前 SON 理事長）と SON アスリートアンバサダーたちと一緒にマラソンのことや SO アスリートとして活躍することなどお話しました。
トーマス選手は昨年 4 月のボストンマラソン Para T20 クラスで 2 時間 35 分 23 秒 の記録で優勝、9 月のベルリンマラソンでは 2.31.23 と記録を伸ばし、今大会では 2 時間 30 分を切る記録を目指して出場しました。今回大会では 2 時間 36 分（当日の速報値）という好タイムで走り切ったトーマス選手ですが、4 月に控えるボストンマラソンへの意欲も語るなど、マラソンへの熱い想いを話してくれました。

△事前に準備＆練習してきた英語での質問をトーマス選手に行ったり、大会のメダルを見せてもらったりしました。

SON アスリートアンバサダーたちはトーマス選手へ英語で自己紹介、マラソンの感想などを質問し交流を楽しみました。海外のアスリートと交流する機会は貴重であり、SON アスリートアンバサダーも事前準備をしっかり行い、交流に臨みました。SO 世界大会に触れるなど、世界中で共に頑張るアスリートと友好を深められることを SO の良さであると話し合う等、

充実した時間を過ごすことができました。SON アスリートアンバサダーたちも今回のことが良い刺激となり、「もっと話したい」「英語が出来るようになりたい」等、国際交流に対して意欲的な感想を述べました。

チャリティラウンジの様子－有森裕子さんもブースに！

有森裕子さんもチャリティラウンジにお立ち寄りいただいたチャリティランナーの完走を称え、一緒に記念撮影を行いました。

ブース

東京ビッグサイト 南 1･2

東京国際フォーラム B 棟 7 階

SNS について

撮影協力いただきました皆さまの様子は、東京マラソン 2025 EXPO 期間中および大会当日の SON 公式 SNS で掲載させていただきました。下記 URL をご覧ください。

Ｆａｃｅｂｏｏｋ：https://www.facebook.com/so.nippon/
X（旧 Twitter）：https://twitter.com/so_nippon
Ｉｎｓｔａｇｒａｍ　：https://www.instagram.com/specialolympics_nippon/?hl=ja

ホスピタリティ

チャリティランナーの皆さまを対象に下記グッズを東京マラソン EXPO 2025 期間中から、東京マラソン 2025 チャリティラウンジでお渡しさせていただきました。

1. SON ロゴ入りシューズケース
2. オリジナル SON フェイスステッカー
3. オリジナル SON ロゴ入りチョコ
4. 2024 年活動報告書
5. 各種 SON の活動動画紹介フライヤー

（公財）スペシャルオリンピックス日本は、東京マラソン財団チャリティ RUN with HEART の寄付先団体です。
東京マラソン財団チャリティ RUN with HEART 公式ウェブサイト: https://www.runwithheart.jp/

以上